

4-7 概算事業費

(1) 概算事業費

1) 積算条件

積算条件を以下のとおり設定する。

①積算時点・・・・・・・・・・ 1992年12月を基点とした。

②為替交換率・・・・・・・・・・

円/ドル換算レート 1992年6月2日から12月1日までの6カ月の平均交換レート
1米ドル=125.44円をもって積算した。

円/シリアポンド換算レート 1988年1月1日から固定交換レートであり、シリア中央銀行
公式交換レート1シリアポンド=11.17円をもって積算した。

③調達期間・・・・・・・・・・ 第1期9カ月、第2期11カ月

④その他・・・・・・・・・・ 日本国政府の無償資金協力の枠組に従い、資機材に対
する輸入関税、日本法人にかかる事業税、付加価値税
等シリア国における国内税が免除される、あるいはシ
リア国政府により支払われることを前提とする。

2) 日本国政府側負担の概算事業費

日本国政府側負担の概算事業費は約10.95億円と見積もられる。

| 事業費区分 | I期 | II期 | 合計 |
|-------|--------|--------|----------|
| 機 材 費 | 440百万円 | 577百万円 | 1,017百万円 |
| 設計監理費 | 26百万円 | 52百万円 | 78百万円 |
| 合 計 | 466百万円 | 629百万円 | 1,095百万円 |

3) シリア国政府側負担の概算事業費

第2期分の事業費

C T室増改築工事費用：61,769,000円（5,531,000シリアポンド）

| 病院名 | C T室増改築工事費用 | |
|--------------------|-------------|----------------|
| 1. ダマスカス病院（ダマスカス市） | 24,580,000円 | （SP 2,201,000） |
| 2. イブンラシッド病院（アレッポ） | 13,960,000円 | （SP 1,250,000） |
| 3. アルワタニ病院（ホムス） | 12,106,000円 | （SP 1,084,000） |
| 4. アルワタニ病院（デリゾール） | 11,123,000円 | （SP 996,000） |
| 合計 | 61,769,000円 | （SP 5,531,000） |

以上の他に国内税、その他の財政課徴金に対する免税手続きに必要な支払費用等を見込む必要がある。

本計画が円滑に実施され、また施設・機材が竣工後ただちに有効利用されるよう、シリア国政府は適切な時期にこれらの項目につき、予算措置及び工事を行うことが必要である。

第5章 事業の効果と結論

第5章 事業の効果と結論

5-1 事業評価

(1) 本事業の実施により下記の効果が期待される。

| 現状と問題点 | 本計画での対策 | 計画の効果・改善 |
|--|---|--|
| 老朽化した救急車両が多く、修理待機、故障での出動中止により十分な活動ができない。 (救急車の稼働率は約30%であり、1991年度では約11万人の救急患者を搬送した。) | 現有する救急車のうち老朽車両、故障車両を入れ替える。そのうち遠距離移送用として、各州に一台ずつ設備付救急車を配備して迅速なる患者移送を目指す。 | 現有車両の約47%が新規車両となり、出動要請に対応でき患者救命に役立つ。(救急車の稼働率が77%に向上する。) |
| 老朽化した救急車両が多く、修理費に多額の予算を費やしている。 | | 現有車両の約47%が新規車両となるため、修理費の低減が期待され、自助努力による車両購入が可能になる。 |
| 修理待機、故障での出動拒否により十分な活動ができないため、救急活動に対する住民の評価が低い。 | | 現有車両の約47%が新規車両となるため、患者の迅速な移送が可能となり、シリア全国民がその恩恵を受けることになる。 |
| ガレージには通信設備が電話回線しかなく、救急車とガレージの連絡ができない。救急の場合の連携が遅く、患者収容に時間がかかり患者救命が困難になる。 | 各州都13カ所に通信基地を、新規救急車128台に無線機を搭載する。 | 現有車両の47%に無線機が搭載されるので、相互の連携がよくなり、救急の対応が早くなり、救命される患者が多くなる。 |
| 救急部門ICU機材が少なく、アレppo・ダマスカスの第三次医療施設に移送していた。 | ICU機材を各州の22カ所の基幹病院の救急部門にICU機材を配備する。 | 保健省管轄の28カ所の救急病院のうち22病院(約78%)の診療機能が向上し、ダマスカス、アレppoへの患者集中が低減され、救命される患者が多くなり、シリア全国民がその恩恵を受ける。 |
| 保健省管轄のCTが一台も無く救急患者の診断にも限度があり診断的確性を欠く。 | 主要病院4カ所にCTを配備し診断機能を高める。 | CT配備病院を中心としたシリアを大きく東西南北の4カ所に分ける救急診断体制ができ、CT配備病院での交通事故による頭部損傷等の救急患者の診断が可能になり、救命される患者が多くなる。シリア全国民がその恩恵を受けることになる。 |

5-2 事業実施の妥当性

シリア国の救急医療体制はダマスカス市ダマスカス病院、アレッポ州イブンラシッド病院を頂点とし、全国14州の28の国立病院が救急部門をもち救急患者の治療にあたり、全国14州の保健局が救急車を管理し患者搬送にあたる制度になっているが、各地方の病院救急部門の設備不足、老朽化、医療機材不足のため、救急医療施設としての機能を十分に果たせず畢竟、首都ダマスカスにあるダマスカス病院及びアレッポ州イブンラシッド病院へ患者を運ばざるをえず、加えて救急車両も製造後10年以上経過した車両がほとんどで、故障修理が多く救急活動の使用に耐えない状況におかれており、国民はその恩恵に浴しているとは言い難い。本計画ではダマスカス市ダマスカス病院、アレッポ州イブンラシッド病院を含む22カ所の病院と全国14州の州保健局が対象であり、全国をカバーする救急医療体制を拡充整備するものである。本計画では救急部門をもつ保健省管轄病院の約78%の病院及び保健省の持つ救急車の約47%が対象となるため、救急医療におけるシリア国国民への多大な裨益効果が期待され、次に述べる運営体制・維持管理の面からも本事業実施の妥当性は極めて高いものである。

(1) 運営体制

各対象病院救急部門は現在24時間体制で活動中であり、本計画実施に起因する救急部門での人員増員は考慮する必要はない。さらに国民は国の制度により卒業後の数年の勤労義務があるため、仮に人員増加が必要とされても保健省の人員採用も毎年計画的になされているので問題はない。CTに関しても、医師は高等教育省管轄医科大学で養成され、医科大学教育病院ではCTによる教育研修がカリキュラムに組み込まれているので画像診断技術者の採用に対する問題はない。また各州の保健局管轄のガレージに勤務する運転手等は現在充足しており、本計画では車両更新を目的としているので、本計画実施のために新たに運転手等を雇用する必要はない。よって、人員確保は保健省の通年の採用計画のみで良く、本計画実施のために特別考慮する必要はない。

(2) 維持管理

1) 救急ICU機材

救急ICU機材に係る経費として、電気代、医療ガス代、超音波診断装置用ジェル代、記録紙代等があげられるが、調達により生じる経費増加は3-3-4運営費の試算より全体として見ると年間18,828,000円（約1,686,500シリアポンド）となるが、一病院当たりの機材点数が少ないため平均して年間約809,000円（約72,500シリアポンド）／病院となり各病院の通常の前算増加率で吸収できる幅である。保健省は増加分につき各病院に対して予算措置を行う必要がある。

2) CT

CTに係る経費は、消耗品・交換部品を含め一施設あたり年間約8,400,000円（約752,000シリアポンド）位必要とされる。特にCT用のX線管が高価なので、シリア国側は適宜、必要な予算措置を講じる必要がある。さらに定期保守点検のための技術者派遣費用も一施設あたり年間約180,000円（約16,000シリアポンド）位必要とされるので、CTの維持管理費については高等教育省管轄病院に習い、患者からの診察料金を徴収し一部を維持管理費に充当する方策を検討・導入すべきであろう。

3) 救急車

救急車に係る経費として通常使用で予測すれば、調達後数年は大きな故障はないと思われるがオイル交換、タイヤ交換、定期点検等は更新しても必要であるため、これらの経費は台数分そのまま残して予算計上せねばならない。

5-3 結論

これまで述べてきたように、本計画を実施することにより、

1. 全国の老朽化した救急車の約47%が無線機を搭載した車両に更新され、各州の保健局ガレージに通信設備が設置され、通信連絡網が充実し、患者搬送による時間のロスが削減される
2. 全国22カ所の国立病院救急部門にICU救急機材が調達され、収容された救急患者の応急処置後の患者監視がより可能となる
3. 救急医療を受け持ち、急増する交通事故等の等部損傷救急患者の診断に苦慮していた保健省に初めてCTが導入され、救急患者の診断処置が短時間で可能となり、さらにシリア全土を東西南北の4地域に分け、その拠点となる病院にCTを配備することにより、高度診断機能を持つ拠点が確立され、全国救急体制網がさらに充実することが期待され、シリア国の救急医療体制が拡充整備されることにより結果としてシリア国国民の健康に関し多大な効果・改善が期待される。従って、本計画を無償資金協力として実施することは妥当であり、意義が大きいと判断される。本計画の実施を確実なものとするため、本計画を1期、2期に分けて行う。

5-4 提言

本計画の速やかな実現と、本事業完了後に救急医療体制が円滑かつ効果的に運用され、所期の目的を果たしうよう、以下の事項につき提言する。

(1) 実施段階での契約・承認手続きの迅速な対応

本計画は日本国の無償資金協力の仕組みに従って実施されるため、時間的制約が存在する。このため、シリア国側としては特に交換公文の締結、コンサルタント契約、本基本設計調査報告書に基づいた詳細設計図書の承認、工事に係る契約等の手続きを迅速に行う必要がある。

(2) シリア国側負担工事の円滑な実施

日本国の無償資金の仕組みに関しては、すでに基本設計調査団がシリア国関係者に説明を行っているため、シリア国側負担工事は確実に実施されるものと考えられるが、シリア国の予算年度に合わせ、適切な時期に予算措置がとられることが必要である。特に対象施設での救急部門改修工事、CT室増改築工事は日本側工事着工以前に完了する必要がある輸入される機材への関税に充てられる予算は着工時には準備されていなければならない。

(3) 維持管理

記述のように本計画機材の有効活用のためには、シリア国側が適切な維持管理を実施することが不可欠である。特に救急車、CTについては、常に使用状況を把握管理できる体制を整えメンテナンス契約を締結する等適切な維持管理を実施するよう望まれる。

(4) 予算措置

上述のようにシリア国側の負担工事・業務が適切に遂行されることにより本計画は実施が可能となる。したがって、計画実施に遅延が生じないようにシリア国側が4-7「概算事業費」に示す予算を必要な時期に確保することが必要である。

添付資料

添付資料

1. 調査団員の構成

(1) 基本設計調査（1992年9月5日～1992年10月10日）

- | | | |
|---------|----------|---------------------------|
| 1. 仲佐 保 | 団長 | 厚生省国立病院医療センター 国際医療協力部 |
| 2. 橋口義則 | 無償資金協力 | 国際協力事業団無償資金協力調査部 調査審査課 |
| 3. 渡辺福一 | 医療機材 I | (株) 国際テクノ・センター |
| 4. 與座 卓 | 医療機材 II | (株) 国際テクノ・センター |
| 5. 河田俊郎 | 施設・設備 | (株) スカイ設計工房 |
| 6. 東條重孝 | 運営維持管理計画 | (株) 国際テクノ・センター |
| 7. 石川義次 | 通訳 | (財) 国際協力サービス・センター |

(2) 基本設計調査報告書ドラフト説明（1993年1月11日～1993年1月22日）

- | | | |
|---------|----------|------------------------------------|
| 1. 仲佐 保 | 団長 | 厚生省国立病院医療センター 国際医療協力部 |
| 2. 岡本 茂 | 無償資金協力 | 国際協力事業団無償資金協力調査部 基本設計調査第一課 課長代理 |
| 3. 渡辺福一 | 医療機材 I | (株) 国際テクノ・センター |
| 4. 東條重孝 | 運営維持管理計画 | (株) 国際テクノ・センター |
| 5. 石川義次 | 通訳 | (財) 国際協力サービス・センター |

2. 現地調査日程

(1) 基本設計調査日程

| | |
|---------------------|--------------------|
| A：官団員 | 9月27日～10月10日（14日間） |
| B：医療機材I、II、運営維持管理計画 | 9月5日～10月10日（36日間） |
| C：施設・設備 | 9月5日～9月25日（21日間） |
| D：通訳 | 9月12日～10月10日（29日間） |

| No | 月/日 | 日 | 官団員行程 | 団員行程 | 調査日程 | |
|----|-----|---|-------|--|---|-----------------|
| 1 | 9/5 | 土 | | BC：東京→フランクフルト | BC：LH711 | |
| 2 | /6 | 日 | | BC：フランクフルト→ダマスカス | BC：LH668 | |
| 3 | /7 | 月 | | BC：ダマスカス | BC：大使館、JICA事務所表敬・協議 S.P.C.・保健省表敬・協議 | |
| 4 | /8 | 火 | | BC：ダマスカス | BC：企画省(無償説明、協力要請) ：保健省協議(無償説明、インベション、 質問書、本調査日程等) | |
| 5 | /9 | 水 | | BC：ダマスカス | BC：保健省協議 (救急体制、組織、要請機材等) | |
| 6 | /10 | 木 | | BC：ダマスカス | BC：保健省協議 | |
| 7 | /11 | 金 | | BC：ダマスカス | BC：団内打ち合せ | |
| 8 | /12 | 土 | | D：東京→フランクフルト BC：ダマスカス→スウェイク →ダマスカス | D：LH711 | BC：スウェイク調査（ICU） |
| 9 | /13 | 日 | | D：フランクフルト→ダマスカス BC：ダマスカス | D：LH668 | BC：保健省全体会議 |
| 10 | /14 | 月 | | BCD：ダマスカス→アレク アレク泊 | BCD：アレク調査 | |
| 11 | /15 | 火 | | BCD：アレク→ラッカ →テリゾール テリゾール泊 | BCD：ラッカ調査 | |

S.P.C.：State Planning Commission

| No | 月 | 日 | 官・行程 | 行程 | | 調査日程 | |
|----|-----|---|-------------------|---------------------------|------------|--|--|
| 12 | /16 | 水 | | BCD : テリゾール テリゾール泊 | | BCD : テリゾール調査 | |
| 13 | /17 | 木 | | BCD : テリゾール→ハサケ テリゾール泊 | | BCD : ハサケ調査 | |
| 14 | /18 | 金 | | BCD : テリゾール→グマスカス | | BCD : 移動日 | |
| 15 | /19 | 土 | | BC : グマスカス | | BCD : グマスカス病院調査 (CT、ICU) : グマスカスガレージ調査 | |
| 16 | /20 | 日 | | BCD : グマスカス | | BCD : イブニングメディス病院調査 | |
| 17 | /21 | 月 | | BCD : グマスカス | | BCD : クラ (アメリカン病院) 調査 イスラヘルセンター調査 | |
| 18 | /22 | 火 | | BCD : グマスカス | | BCD : クネトラ調査 ヘルセター コラン病院視察 | |
| 19 | /23 | 水 | | C : グマスカス →フランクフルト | BD : グマスカス | C : LH669 | BD : MEセンター調査 (維持管理体制、 技術予算、 パーツ供給等) : 現地代理店調査 |
| 20 | /24 | 木 | | C : フランクフルト→ | BD : グマスカス | C : LH710 | BD : WHO (援助動向、 ヘルネットワーク) : 現地代理店調査 |
| 21 | /25 | 金 | | C : →東京 | BD : グマスカス | BD : 資料整理 | |
| 22 | /26 | 土 | | BD : グマスカス | | BD : ホムス(アメリカン病院)調査 ホリクリニック視察 | |
| 23 | /27 | 日 | A : 東京→フランクフルト | BD : グマスカス | | A : LH711 | BD : 医療機器市場調査、 輸送関係調査 |
| 24 | /28 | 月 | A : フランクフルト→グマスカス | BD : グマスカス | | A : LH668 | BD : ドムマ病院調査 グマスカス近郊保 健局表敬 |
| 25 | /29 | 火 | A : グマスカス | BD : 同左 | | ABD : 大使館、 JICA事務所表敬・協議、 S.P.C.・保健省表敬・協議 | |

S.P.C. : State Planning Commission

| No | 月 | 日 | 官行程 | 行程 | 調査日程 |
|----|------|---|---------------------------|---------|--|
| 26 | /30 | 水 | A : タマスカス | BD : 同左 | ABD : 791 ^o 病院(高等教育省)、 タマスカス病院(保健省)調査 |
| 27 | 10/1 | 木 | A : タマスカス | BD : 同左 | ABD : ハマ(797 ^o 病院)調査 サマエ病院調査 |
| 28 | /2 | 金 | A : タマスカス | BD : 同左 | ABD : タドモール病院調査 |
| 29 | /3 | 土 | A : タマスカス→タムス→ラキア ラキア泊 | BD : 同左 | ABD : タムス(797 ^o 病院)調査 |
| 30 | /4 | 日 | A : ラキア ラキア泊 | BD : 同左 | ABD : ラキア(797 ^o 病院)調査 |
| 31 | /5 | 月 | A : ラキア→エトリブ →タマスカス | BD : 同左 | ABD : エトリブ(797 ^o 病院)調査 : 団内会議 (ミツツ打ち合せ) |
| 32 | /6 | 火 | A : タマスカス | BD : 同左 | ABD : S.P.C.との協議 保健省との協議 : (ミツツラフト作成) |
| 33 | /7 | 水 | A : タマスカス | BD : 同左 | ABD : ミツツ署名 大使館、JICA事務所 報告 |
| 34 | /8 | 木 | A : タマスカス→ハリ | BD : 同左 | ABD : AF8162 |
| 35 | /9 | 金 | A : ハリ→ | BD : 同左 | ABD : AF276 |
| 36 | /10 | 土 | A : →東京 | BD : 同左 | |

S.P.C. : State Planning Commission

(2) ドラフトファイナルレポート説明調査日程

A：総括 1月11日～1月21日（11日間）
 B：無償資金協力 1月11日～1月22日（12日間）
 C：医療機材I、運営維持管理計画、通訳 1月11日～1月22日（12日間）

| No | 月/日 | 日 | 官閉員行程 | 団員行程 | 調査日程 |
|----|------|---|-----------------------------|---------|--|
| 1 | 1/11 | 月 | AB：東京→フランクフルト | C：同左 | ABC：LH711 |
| 2 | /12 | 火 | AB：フランクフルト→ダマスカス | C：同左 | ABC：LH668 |
| 3 | /13 | 水 | AB：ダマスカス | C：同左 | ABC：JICA事務所表敬・協議 S.P.C.・保健省 表敬・協議 |
| 4 | /14 | 木 | AB：ダマスカス | C：同左 | ABC：企画省・保健省協議 |
| 5 | /15 | 金 | AB：ダマスカス→アレクサンドリア →ダマスカス | C：同左 | ABC：アレクサンドリア調査 (イブンラシッド病院、 アレクサンドリア・ガレージ) |
| 6 | /16 | 土 | AB：ダマスカス | C：同左 | ABC：保健省協議 |
| 7 | /17 | 日 | AB：ダマスカス→クネイトラ →ダマスカス | C：ダマスカス | ABC：ミニッツ署名 AB：クネイトラ調査 ヘルスセンター視察 C：現地代理店調査 |
| 8 | /18 | 月 | AB：ダマスカス | C：同左 | ABC：大使館、JICA事務所報告 |
| 9 | /19 | 火 | A：ダマスカス→帰国 B：ダマスカス | C：ダマスカス | A：OS722 B：大使館、 JICA事務所打合 C：現地代理店調査 |
| 10 | /20 | 水 | B：ダマスカス→フランクフルト | C：同左 | BCD：LH669 |
| 11 | /21 | 木 | B：フランクフルト→ | C：同左 | BCD：LH669 |
| 12 | /22 | 金 | B：→東京 | C：同左 | |

S.P.C.：State Planning Commission

3. 主要面談者リスト

(1) 基本設計調査時

企画局

Dr.ABDUL RAHIM SEBA'Y

企画局局長

保健省

Dr. MOHAMMED EYAD CHATTY

保健大臣

Dr. MUSTAFA KAMMAL BAATH

副大臣

Dr. ABDUL LATIFF JAZMATI

保健省医療サービス局局长

Dr. HUDA HAMED

保健省統計企画局局长

Dr. MOHAMMED ALI KARKOUKLI

6病院プロジェクト機材事務局局長

Mr. DAWOOD BISHARA

保健省中央管理局局員

Dr. BASLLAN BASLLAN

アレppo保健局局长

Dr. AHMAD MA'ROUF RADER

ラタキア保健局局长

Dr. SHARAF ABAZA

クネイトラ保健局局长

Dr. WARID AL-TURK

ダマスカス郊外保健局局长

Dr. HAMDO KHALIL

ラッカ保健局局长

Dr. JACK LOULU

ハサケ保健局局长

Dr. AHMED NASER MASSRI

ハマ保健局局长

Dr. ANWAR JAMIL

デリゾール保健局局长

Dr. JAMIL AL-FAKEH

スウェイダ保健局局长

Dr. KAMAL HAMDAN

スウェイダ病院院長

Dr. MOHAMMED DIRANIH

ダマスカス保健局局长

Dr. BADER AL-DIN BASHIMAM

ダマスカス病院院長

Dr. ABOUL AL-RAHIM BARMO

ダラ保健局局长

在シリア国大使館

久保田 穰

大使

山崎 武紀

参事官

鎌田 和彦

専門調査員

在JICA事務所

松尾 邦義

所長

渡辺 裕介

調整員

(2) ドラフトファイナルレポート説明調査時

企画局

Dr. ABDUL RAHIM SEBA'Y

企画局局长

保健省

Dr. MOHAMMED EYAD CHATTY

保健大臣

Dr. ABDUL LATIFF JAZMATI

保健省医療サービス局局长

Dr. HUDA HAMED

保健省統計企画局局长

Dr. MOHAMMED ALI KARKOUKLI

6病院プロジェクト機材事務局局長

Dr. BASLLAN BASLLAN

アレッポ保健局局长

Dr. SHARAF ABAZA

クネイトラ保健局局长

在シリア国大使館

久保田 穰

大使

山崎 武紀

参事官

鎌田 和彦

専門調査員

在JICA事務所

松尾 邦義

所长

渡辺 裕介

調整員

4. 協議・議事録

- 1 -

(1) 基本設計調査説明時

MINUTE OF DISCUSSIONS
ON
THE BASIC DESIGN STUDY ON THE PROJECT FOR
THE UPGRADING EMERGENCY SERVICES
IN
THE SYRIAN ARAB REPUBLIC

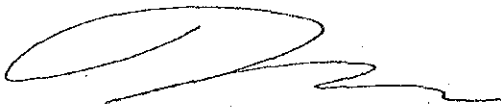
In response to a request from the Government of the Syrian Arab Republic, the Government of Japan decided to conduct a Basic Design Study on the Project for the Upgrading Emergency Services (hereinafter referred to as 'the Project'), and entrusted the study to the Japan International Cooperation Agency (JICA).

JICA sent to Syria a study team, which is headed by M.D. Tamotsu Nakasa, Department of International Cooperation, National Medical Center Hospital, Ministry of Health and Welfare from September 6 to October 8, 1992.

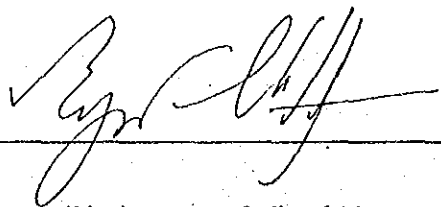
The team had a series of discussions with the official concerned of the Government of Syria and conducted a field survey at the study area.

As a result of discussions and field survey, both sides have confirmed the main items described in the attached sheets. The team will proceed to further work and prepare the Basic Design Study Report.

Damascus, October 7, 1992



M.D. Tamotsu Nakasa
Leader
Basic Design Study Team
JICA



Ministry of Health
The Syrian Arab Republic

ATTACHMENT

- 2 -

1. Objective

The objective of the Project is to improve the emergency services by procurement of the necessary ambulances and equipment.

2. Project Site

The project sites are shown in the Annex 1.

3. Executing Agency

Ministry of Health is responsible for the administration and execution of the Project.

4. Items requested by Syria side

The following items were finally requested by the Syria side in order of priority.

- 4.1 Procurement of Ambulances without equipment
- 4.2 Procurement of Ambulances with equipment
- 4.3 Procurement of I.C.U. equipment
- 4.4 Procurement of CT Scanner

5. Comments by Japanese side on the requested items mentioned in 4. above.

- 5.1 The Japanese side will review the necessary items for the Project according to the priority order proposed by the Syria side.
- 5.2 The final components of the Project may differ, when considered necessary after further studies in Japan.

6. Japan's Grant Aid system

- 6.1 The Syria side understands the system of Japan's Grant Aid as explained by the team.
- 6.2 The Syria side will take necessary measures, as described in Annex 2 for the smooth implementation of the Project on condition that the Grant Aid by the Government of Japan is extended to the Project.

7. Other relevant issues

On condition that Japan's Grant Aid is extended to the Project:

- 7.1 The Ministry of Health will recruit necessary personnel for the Project to secure proper maintenance and operation of the ambulances and equipment included in the Project.
- 7.2 In this connection, the Ministry of Health will assure the adequate provision of funds for maintenance and operation in recurrent budget.
- 7.3 The ministry of Health will maintain adequate performance and utilization data on the ambulances and equipment included in the Project. And these data will be submitted annually to the Japanese side.

8. Schedule of the study

- 8.1 Based on the Minutes of Discussions and the results of the study, JICA will compile a draft report and dispatch a mission in order to explain its contents in the beginnings of 1993.
- 8.2 Upon approval of the said draft report by the Syria side, JICA will complete the final report and submit it to the Government of Syria and the government of Japan around March 1993. 2C
D

Annex 1

| Equipment | Hospital | | | | | | | | | | Total | |
|-------------------------------|-----------------------------------|-------------------------------|--------------------------------|---------------------|------------------|-------------------|------------------------|----------------------|------------------|---------------------|------------------|-----|
| Resuscitation bed | Damascus Hospital (Damascus City) | Ibn Al-Naffis (Damascus City) | Duma Al-Jerabi Damascus Suburb | Ibn Roushd (Aleppo) | Al-Razi (Aleppo) | Al-Watani (Idlib) | Ibn-Sina Hosp. (Idlib) | Al-Watani (Lattakia) | Jableh (Lattaki) | Al-Watani (Tartous) | Al-Watani (Homs) | 25 |
| 2. Bed Side Monitor | 4 | 4 | 4 | 2 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 84 |
| 3. Ventilator (Pulmoverent) | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 21 |
| 4. Ventilator (Electrical) | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 12 |
| 5. Blood Gas Analyzer | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 12 |
| 6. Suction Device | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 84 |
| 7. Oxygen Flowmeter & Inhaler | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 84 |
| 8. Defibrillator (Stationary) | 2 | 1 | 1 | 2 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 2 | 1 | 25 |
| 9. Defibrillator (Ambulatory) | 1 | | | 1 | | | 1 | | | 1 | | 4 |
| 10. ECG (3 Channel) | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 21 |
| 11. Equipped Amb | | | | | | | | | | | | |
| 12. Non-Equipped Amb. | | | | | | | | | | | | |
| CT Scanner | *1 | 1 | 1 | 1 | | | 1 | | | 1 | | ①+6 |
| Level | (1) | 2 | 3 | (1) | 2 | 3 | 3 | (1) | 3 | 2 | (1) | 3 |
| Portable Ultrasonic | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 12 |
| Pulse Oximeter | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 42 |
| 4 Wheel Drive | | | | | | | * | | | | | * |
| | | | | | | | | | | | | *50 |

② Sophisticated Scanner (Central Hospital)

Annex 2

Necessary measures to be taken by the Government of Syria on condition that Japan's Grant Aid is extended

1. To provide the land for temporary site office, warehouse and stockyard during the implementation period
2. To ensure prompt unloading, tax exemption, customs clearance at the port of disembarkation in Syria, and prompt internal transportation of imported materials and equipment for the Project
3. To exempt Japanese national from custom duties, internal taxes and other fiscal levies which may be imposed in Syria with respect to the supply of the products and services under the verified contracts
4. To accord Japanese Nationals, whose services may be required in connection with the supply of products and the services under the verified contracts, such facilities as may be necessary for their entry into Syria and stay therein for the duration of their work *20*
9
5. To use and maintain properly and effectively all the equipment purchased under the Grant
6. To bear all the expenses other than those to be borne by the Grant, necessary for the procurement of the equipment as well as for the transportation and the installation of the equipment

(2) ドラフトファイナルレポート説明時

MINUTES OF DISCUSSIONS

ON

THE BASIC DESIGN STUDY ON THE PROJECT FOR
THE UPGRADING EMERGENCY SERVICES

IN

THE SYRIAN ARAB REPUBLIC
(CONSULTATION ON DRAFT REPORT)

In September 1992, the Japan International Cooperation Agency (JICA) dispatched a Basic Design Study Team on the Project for the Upgrading Emergency Services (hereinafter referred to as "the Project") to the Syrian Arab Republic, and based on the discussions with the Syrian side and the examination of the results of the field survey, JICA has prepared the draft report of the study.

In order to explain and discuss the contents of the draft report, JICA sent to Syria a study team, which is headed by Dr. Tamotsu Nakasa, M.D., Department of International Cooperation, National Medical Center Hospital, Ministry of Health and Welfare from January 12 to 20, 1993.

As a result of discussions, both sides have confirmed the main items described in the attached sheets.

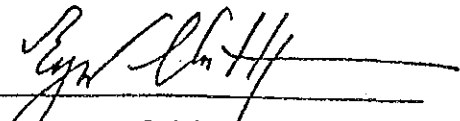
Damascus, January 17, 1993



Dr. Tamotsu Nakasa, M.D.

Leader

Draft Report Explanation Team
JICA



M. Eyad El Shatty

Minister

Ministry of Health
The Syrian Arab Republic

ATTACHMENT

1. Contents of the Draft Report

The Syrian side has agreed and accepted in principle the contents of the Draft Report proposed by the team.

The components to be procured in the Project are summarized in ANNEX I for the first phase and ANNEX II for the second phase.

2. Japan's Grant Aid system

2.1 The Syrian side has understood the system of Japan's Grant Aid as explained by the team.

2.2 The Syrian side will take the necessary measures, as described in ANNEX III for the smooth implementation of the Project on condition that the Grant Aid by the Government of Japan is extended to the Project.

3. Other relevant issues

On condition that Japan's Grant Aid is extended to the Project;

3.1 the Ministry of Health will recruit necessary personnel for the Project to secure proper maintenance and operation of the ambulances and equipment included in the Project.

3.2 in this connection, the Ministry of Health will assure the adequate provision of funds for maintenance and operation in the recurrent budget.

3.3 the Ministry of Health will make an inventory list on the equipment and spare parts included in the Project.

3.4 the Ministry of Health will maintain adequate performance and utilization data on the ambulances and equipment included in the Project. And these data will be submitted annually to the Japanese side.

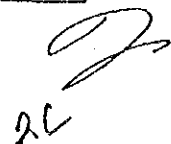
4. Further Study

JICA will complete the final report with the confirmed items, and send it to the Government of Syria around March 1993.

ANNEX I

Number of Ambulances for each Muhafazat

| Muhafazat | Population | Popul./ Ambul. | Number of Amb ulance Total | Ambulance Replaced | | |
|--------------------------------|------------|-------------------|-------------------------------------|-----------------------|--------------|-----|
| | | | | non equi | equi pped | 4WD |
| Min. Health & Damascus city | 1,473,000 | 35,926 | 4 1 | 2 0 | 1 | 0 |
| Damascus Sub. | 1,351,000 | 67,550 | 2 0 | 1 0 | 1 | 0 |
| Dara | 568,000 | 24,695 | 2 3 | 1 3 | 1 | 0 |
| Sweida | 281,000 | 25,545 | 1 1 | 7 | 1 | 0 |
| Homs | 1,209,000 | 54,954 | 2 2 | 1 0 | 1 | 0 |
| Tartus | 644,000 | 49,538 | 1 3 | 2 | 1 | 1 |
| Latakia | 783,000 | 34,043 | 2 3 | 6 | 1 | 1 |
| Hama | 1,046,000 | 68,733 | 1 5 | 8 | 1 | 0 |
| Aleppo | 2,677,000 | 74,361 | 3 6 | 9 | 1 | 0 |
| Idlib | 870,000 | 45,789 | 1 9 | 1 0 | 1 | 0 |
| Derezor | 565,000 | 40,357 | 1 4 | 2 | 1 | 0 |
| Lakka | 485,000 | 34,642 | 1 4 | 3 | 1 | 0 |
| Hasakeh | 965,000 | 53,611 | 1 8 | 1 3 | 1 | 0 |
| Quneitra | 41,000 | 5,125 | 8 | 0 | 0 | 2 |
| Total | | | 2 7 7 | 113 | 13 | 4 |
| | | | | 1 3 0 | | |



Equipment for each Hospital

| Hospital | Bedside Monitor | Respirator | Blood Gas Analyzer | Suction Apparatus | Resuscitator w. Flowmeter | Defibrillator | ECG (3lh) | Ultra-sound App. | Puls Oximeter | CT Scanner |
|------------------------|-----------------|------------|--------------------|-------------------|---------------------------|---------------|-----------|------------------|---------------|------------|
| Damascus | 4 | 1 | 1 | 2 | 4 | 1 | 1 | 1 | 2 | 1 |
| Aleppo Ibn-Rashid | 4 | 1 | 1 | 2 | 4 | 1 | 1 | 1 | 2 | 1 |
| Duma Al-Jerahi | 4 | 1 | 0 | 2 | 4 | 1 | 1 | 1 | 1 | |
| Homs Al-Watani | 4 | 1 | 0 | 2 | 4 | 1 | 1 | 1 | 2 | 1 |
| Hama Al-Watani | 4 | 1 | 0 | 2 | 4 | 1 | 1 | 1 | 2 | |
| Hasakeh Al-Watani | 4 | 1 | 0 | 2 | 4 | 1 | 1 | 1 | 2 | |
| Idlib Al-Watani | 4 | 1 | 0 | 2 | 4 | 1 | 1 | 1 | 2 | |
| Latakia Al-Watani | 4 | 1 | 0 | 2 | 4 | 1 | 1 | 1 | 2 | |
| Tartus Al-Watani | 4 | 1 | 0 | 2 | 4 | 1 | 1 | 1 | 2 | |
| Derezor Al-Watani | 4 | 1 | 0 | 2 | 4 | 1 | 1 | 1 | 2 | 1 |
| Dara Al-Watani | 4 | 1 | 0 | 2 | 4 | 1 | 1 | 1 | 2 | |
| Rakka Al-Watani | 4 | 1 | 0 | 2 | 4 | 1 | 1 | 1 | 2 | |
| Sweida Al-Watani | 4 | 1 | 0 | 2 | 4 | 1 | 1 | 1 | 2 | |
| Damascus Ibn Al-Naffis | 4 | 1 | 0 | 2 | 4 | 1 | 1 | 1 | 2 | |
| Aleppo Al-Razi | 4 | 1 | 0 | 2 | 4 | 1 | 1 | 1 | 2 | |
| Hasakeh Kahmishli | 4 | 1 | 0 | 2 | 4 | 1 | 1 | 1 | 1 | |
| Derezor Al-Furaat | 4 | 1 | 0 | 2 | 4 | 1 | 1 | 1 | 1 | |
| Idlib Ibn Sina | 4 | 1 | 0 | 2 | 4 | 1 | 1 | 1 | 1 | |
| Ouneitra Baath Health | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 1 | 1 | 1 | 1 | |
| Latakia Jableh | 4 | 1 | 0 | 2 | 4 | 1 | 1 | 1 | 1 | |
| Homs Tadkor | 4 | 1 | 0 | 2 | 4 | 1 | 1 | 1 | 1 | |
| Hama Sarakhe | 4 | 1 | 0 | 2 | 4 | 1 | 1 | 1 | 1 | |
| Total | 84 | 22 | 2 | 43 | 84 | 22 | 22 | 22 | 36 | 4 |

20

ANNEX III

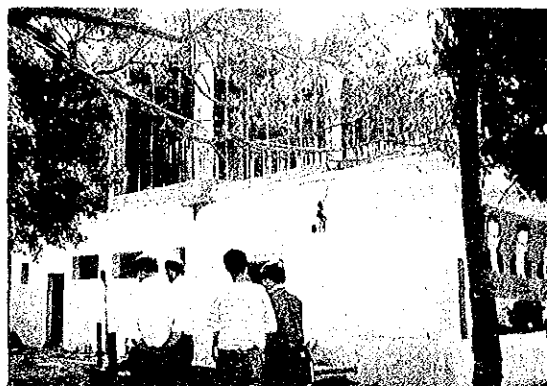
Necessary measures to be taken by the Government of Syria on condition that Japan's Grant Aid is extended:

1. To provide the land for temporary site office, warehouse and stock yard during the implementation period
2. To conclude a Banking Arrangement (B/A) with an authorized Japanese foreign exchange bank and bear the necessary commissions to the Japanese foreign exchange bank for the banking services based upon the B/A
3. To issue necessary Authorization(s) to Pay (A/P) and bear the necessary payment commissions for A/P based upon the B/A
4. To ensure prompt unloading, tax exemption, customs clearance at the port of disembarkation in Syria
5. To exempt Japanese nationals from customs duties, internal taxes and other fiscal levies which may be imposed in Syria with respect to the supply of the products and services under the Verified Contracts
6. To accord Japanese Nationals, whose services may be required in connection with the supply of products and the services under the Verified Contracts, such facilities as may be necessary for their entry into Syria and stay therein for the duration of their work
7. To use and maintain properly and effectively all the equipment purchased under the Grant
8. To bear all the expenses other than those to be borne by the Grant, necessary for the procurement of the equipment as well as for the transportation and the installation of the equipment

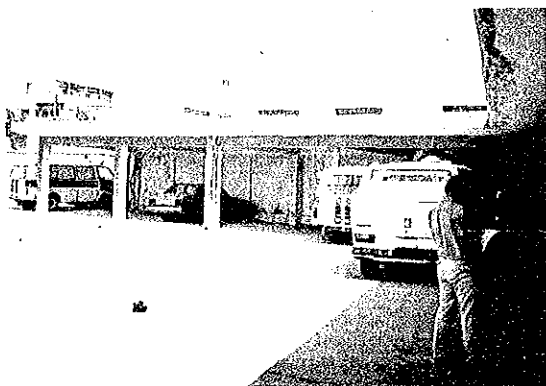
5. 調査写真



ホームス州 タドモール病院ガレージ



タルトス州 アルワタニ病院工事現場



タルトス州 保健局ガレージ



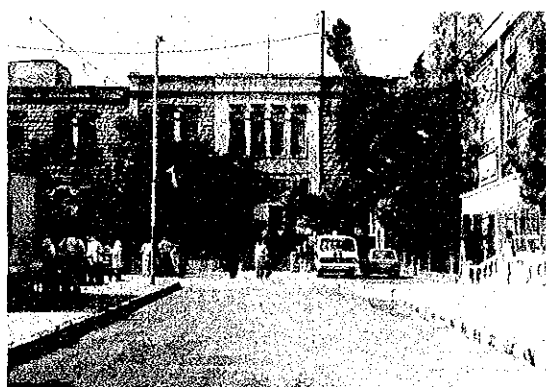
スウェイダ州 保健局ガレージ



スウェイダ州 アルワタニ病院救急外来



スウェイダ州 アルワタニ病院救急部門工事現場



アレppo州 アルラジ病院



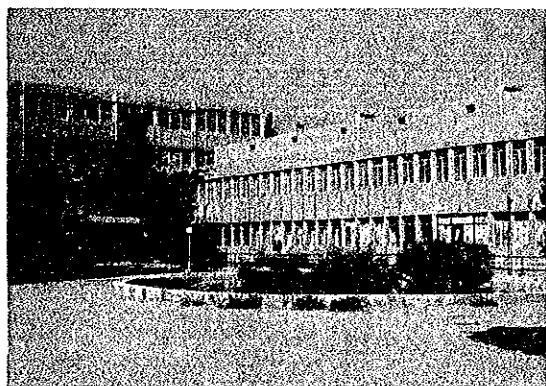
アレppo州 アルラジ病院ガレージ
(アレppo市内救急担当)



アレppo州 イブンラシッド病院



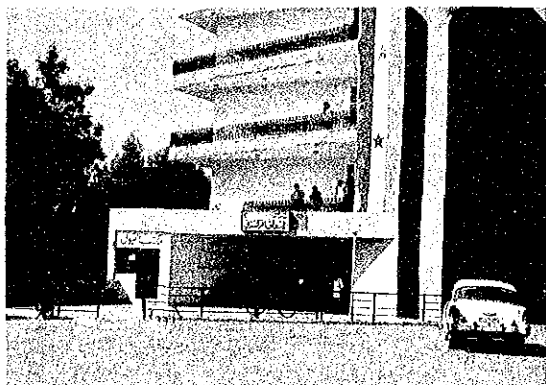
アレppo州 保健局ガレージ



ラッカ州 アルワタニ病院



ラッカ州 保健局ガレージ



デリゾール州 アルワタニ病院



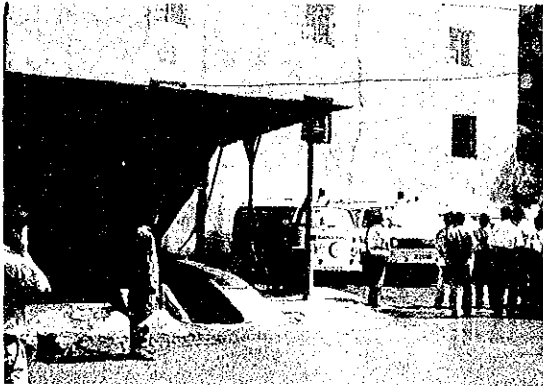
デリゾール州 アルワタニ病院ガレージ



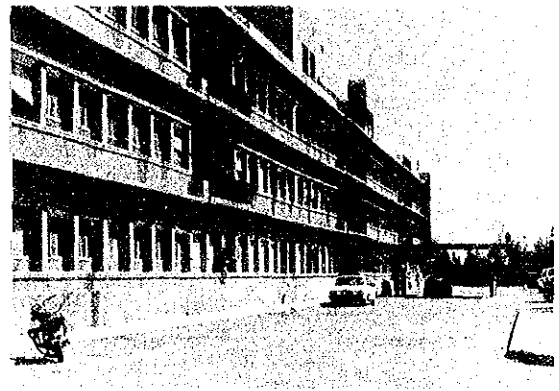
デリゾール州 マヤディーン病院



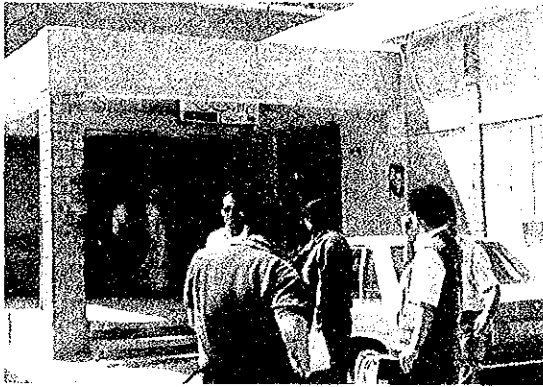
デリゾール州 アルフラート病院



デリゾール州 保健局ガレージ



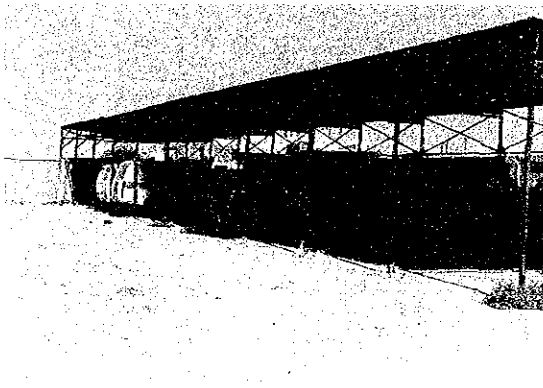
ハサケ州 アルワクニ病院



ハサケ州 カーミシュリ病院



ハサケ州 保健局ハサケガレージ



ハサケ州 保健局カーミシュリガレージ



ダマスカス市 ダマスカス病院



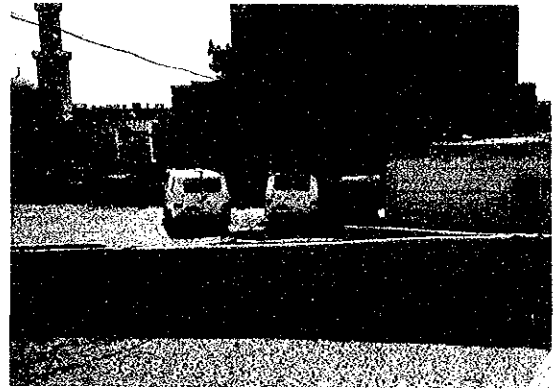
ダマスカス市 ダマスカス病院ガレージ



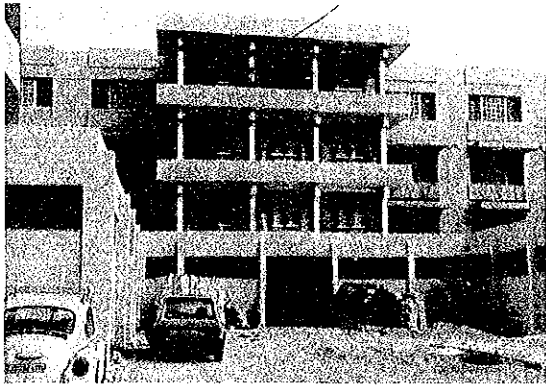
ダマスカス市 保健省ガレージ



ダマスカス市 イブンアルナフィス病院



ダマスカス市 イブンアルナフィス病院ガレージ



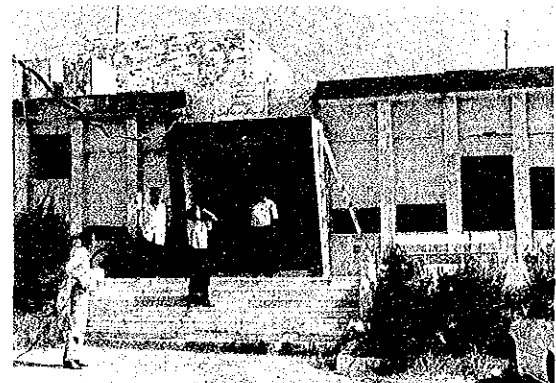
ダラ州 アルワタニ病院（全館工事中）



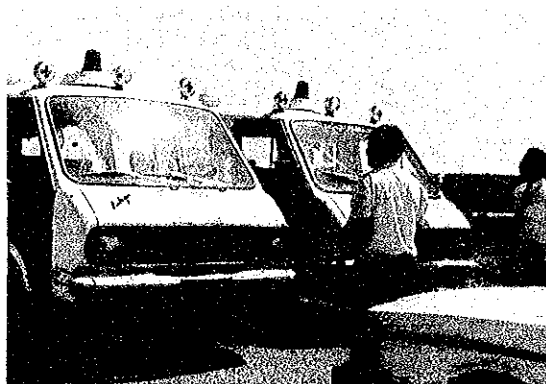
ダラ州 保健局ガレージ（アルワタニ病院内）



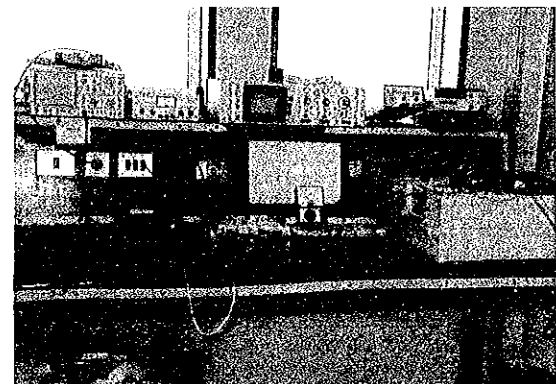
ダラ州 イズラヘルセンター



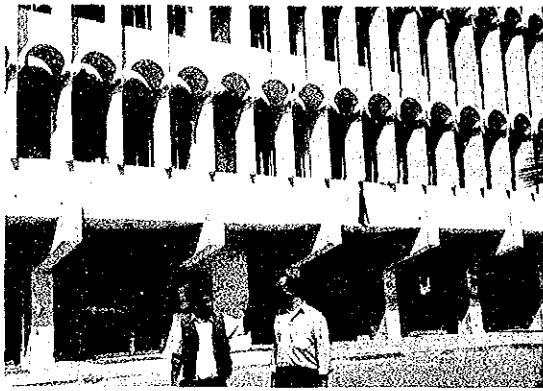
クネイトラ州 バースヘルスセンター



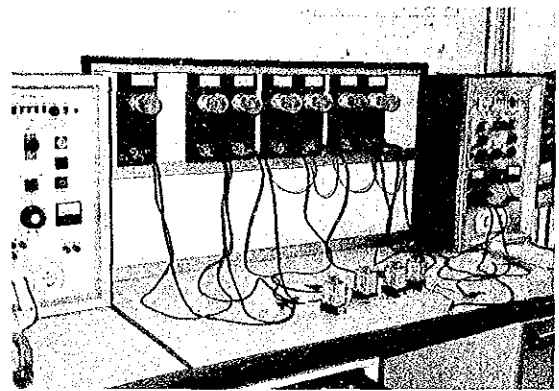
クネイトラ州 バースヘルスセンターガレージ



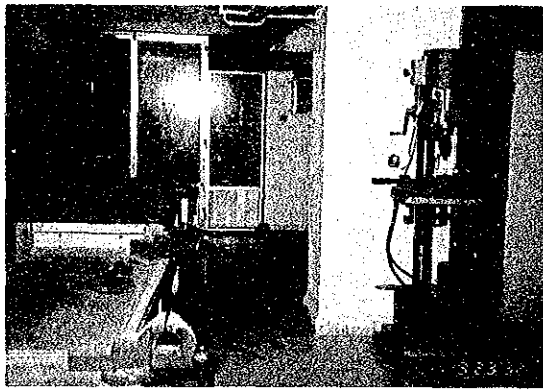
保健省メンテナンスセンター（修理室内部）



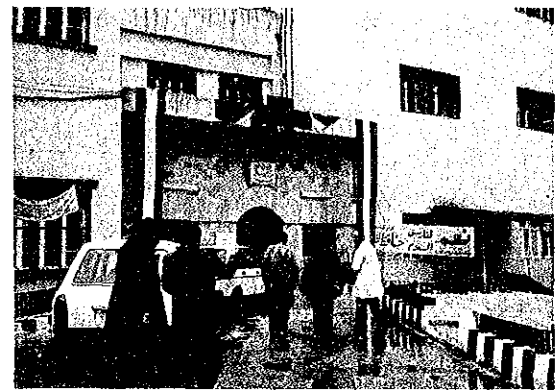
医療技術専門学校 (ダマスカス市)



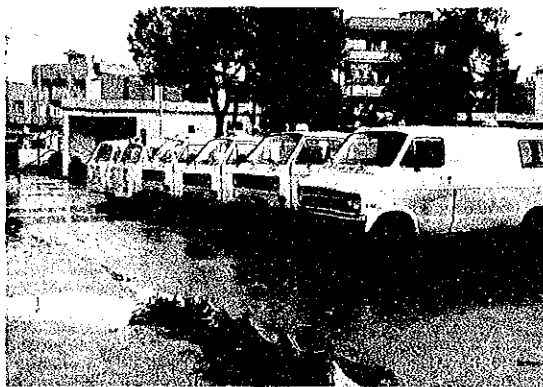
医療技術専門学校 実習室 (電気)



医療技術専門学校 実習室 (機械)



ホムス州 アルワタニ病院



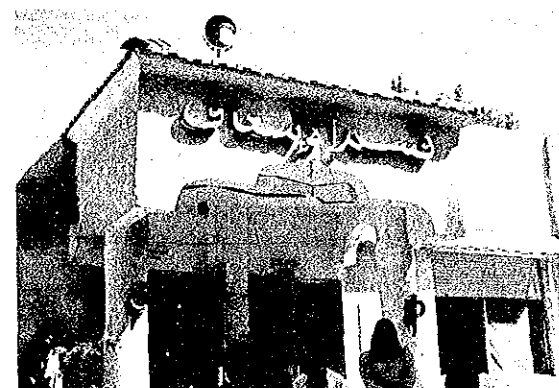
ホムス州 保健局ガレージ



ホムス州 ポリクリニック



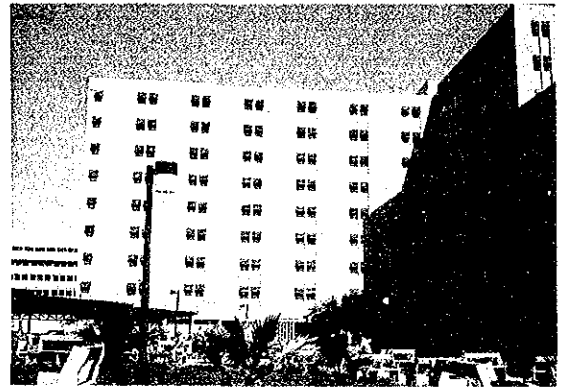
ダマスカス近郊 ドュマ病院



ダマスカス近郊 ドュマ病院救急外来



ダマスカス近郊 ドュマ病院ガレージ



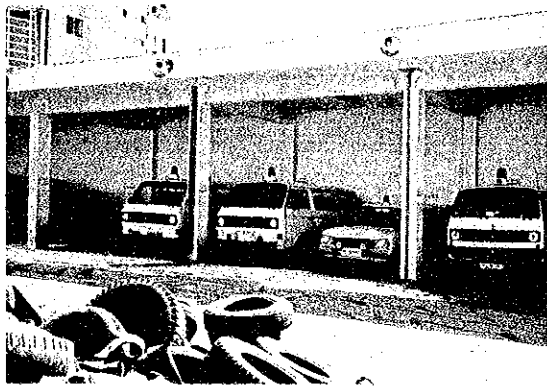
高等教育省アサド病院



高等教育省 アサド病院ガレージ



ハマ州 アルワタニ病院



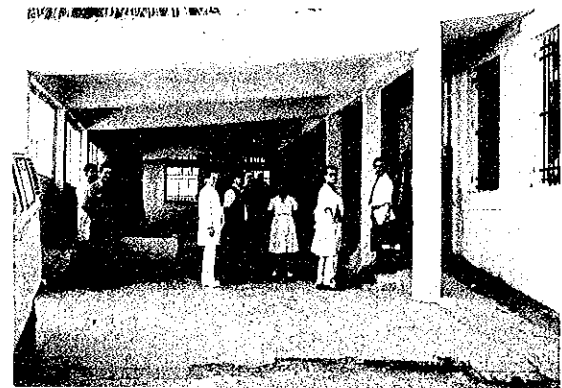
ハマ州 保健局ガレージ



ハマ州 サラミエ病院改修現場



ホムス州 タドモール病院工事現場



ラタキア州 アルワタニ病院救急外来



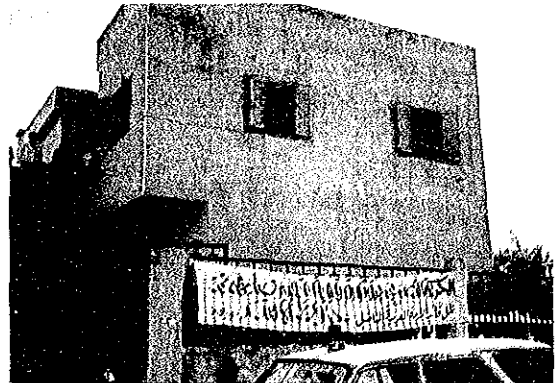
ラタキア州 アルワタニ病院救急部門改修工事現場



ラタキア州 ジャブレ病院救急外来



ラタキア州 ジャブレ病院ガレージ



ラタキア州 ヘルスセンター



ラタキア州 ヘルスセンター



エドリブ州 保健局ガレージ

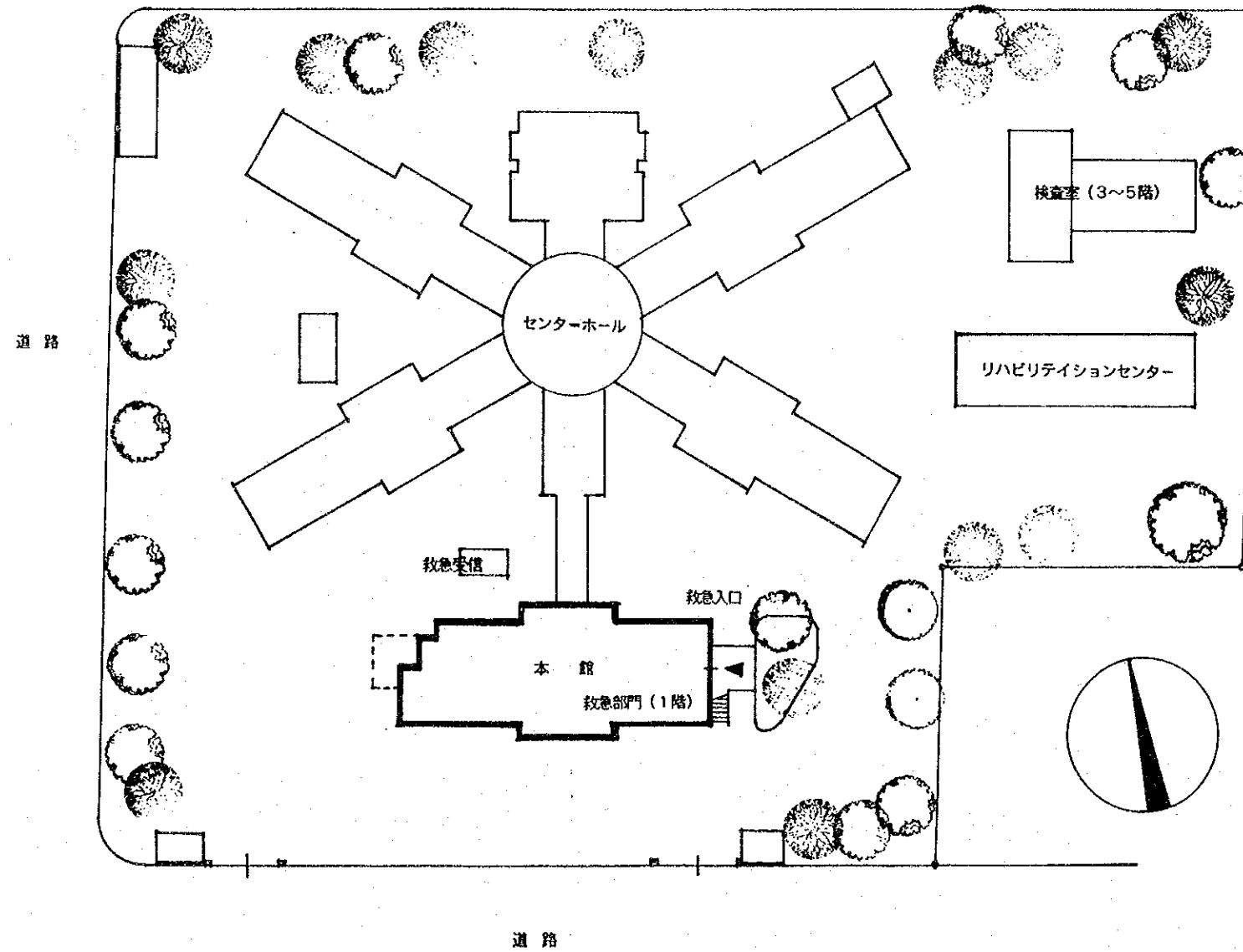


エドリブ州 イブシナ病院



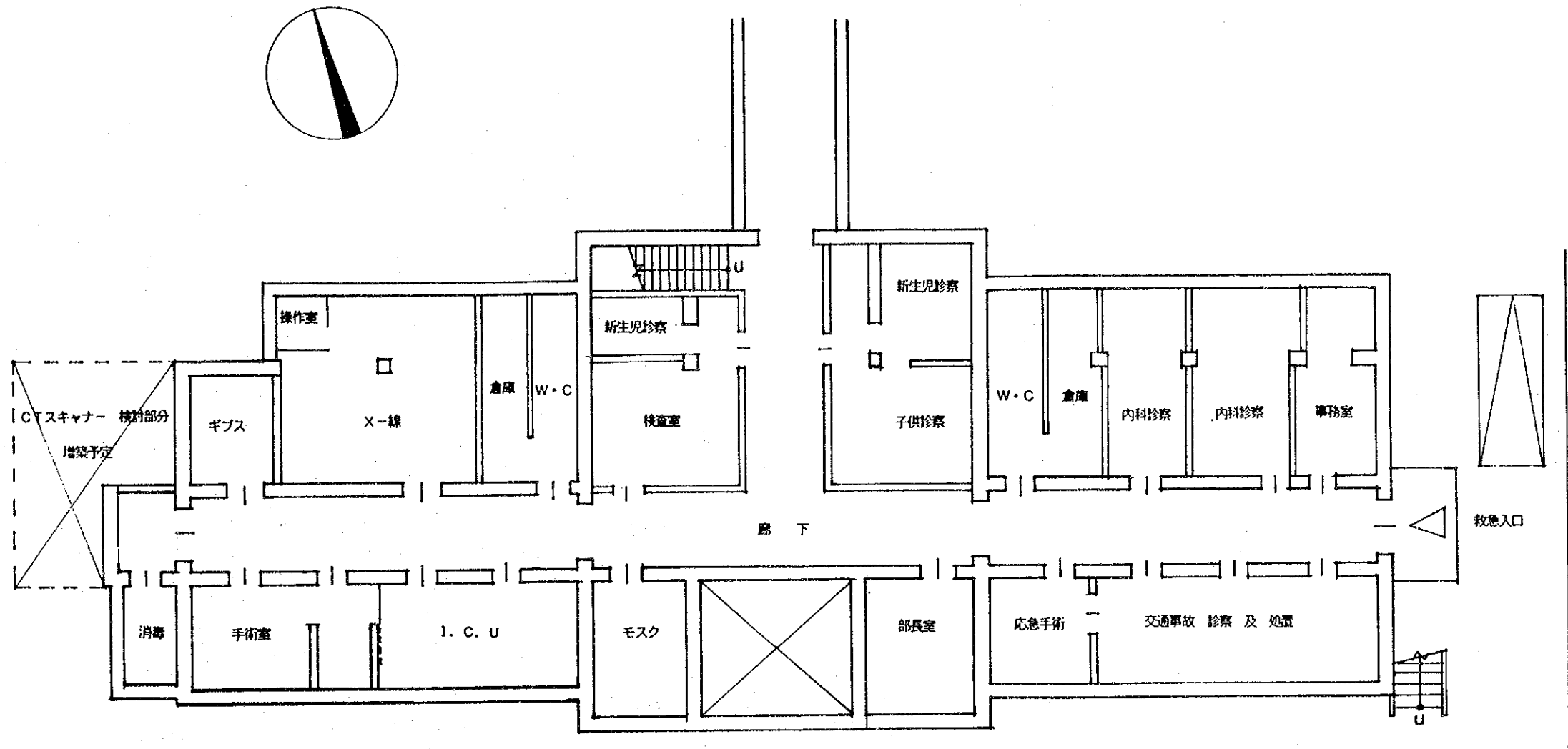
エドリブ州 アルワタニ病院

6. CT対象医療施設図面



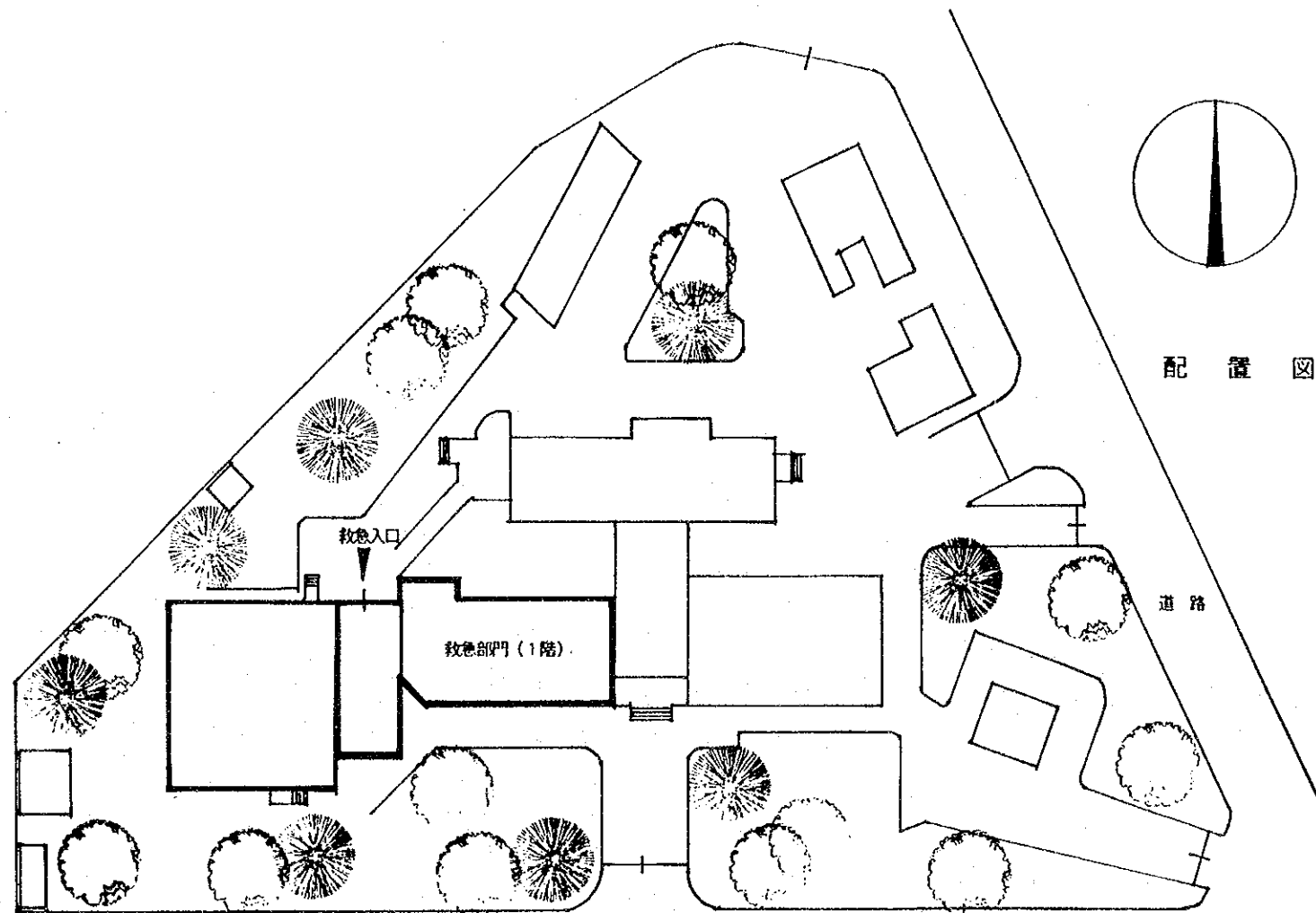
配置図 S:1/1000

ダマスカス病院 (ダマスカス市)

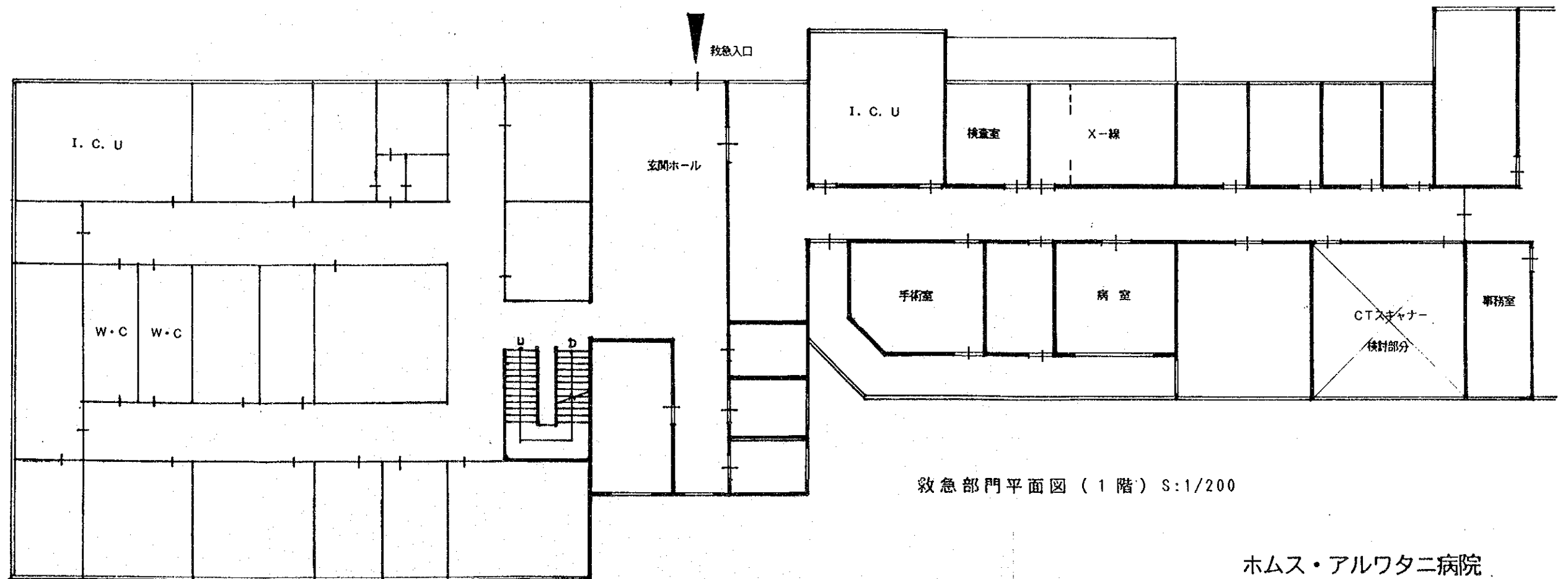


救急部門平面図（1階）S:1/200

ダマスカス病院（ダマスカス市）

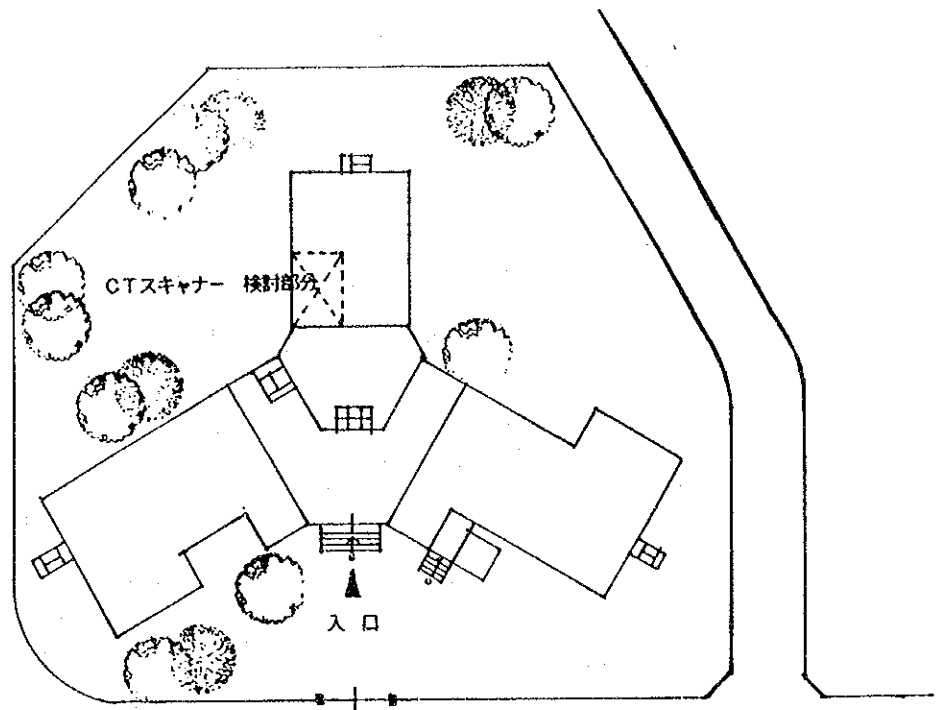


配置図 S:1/1000

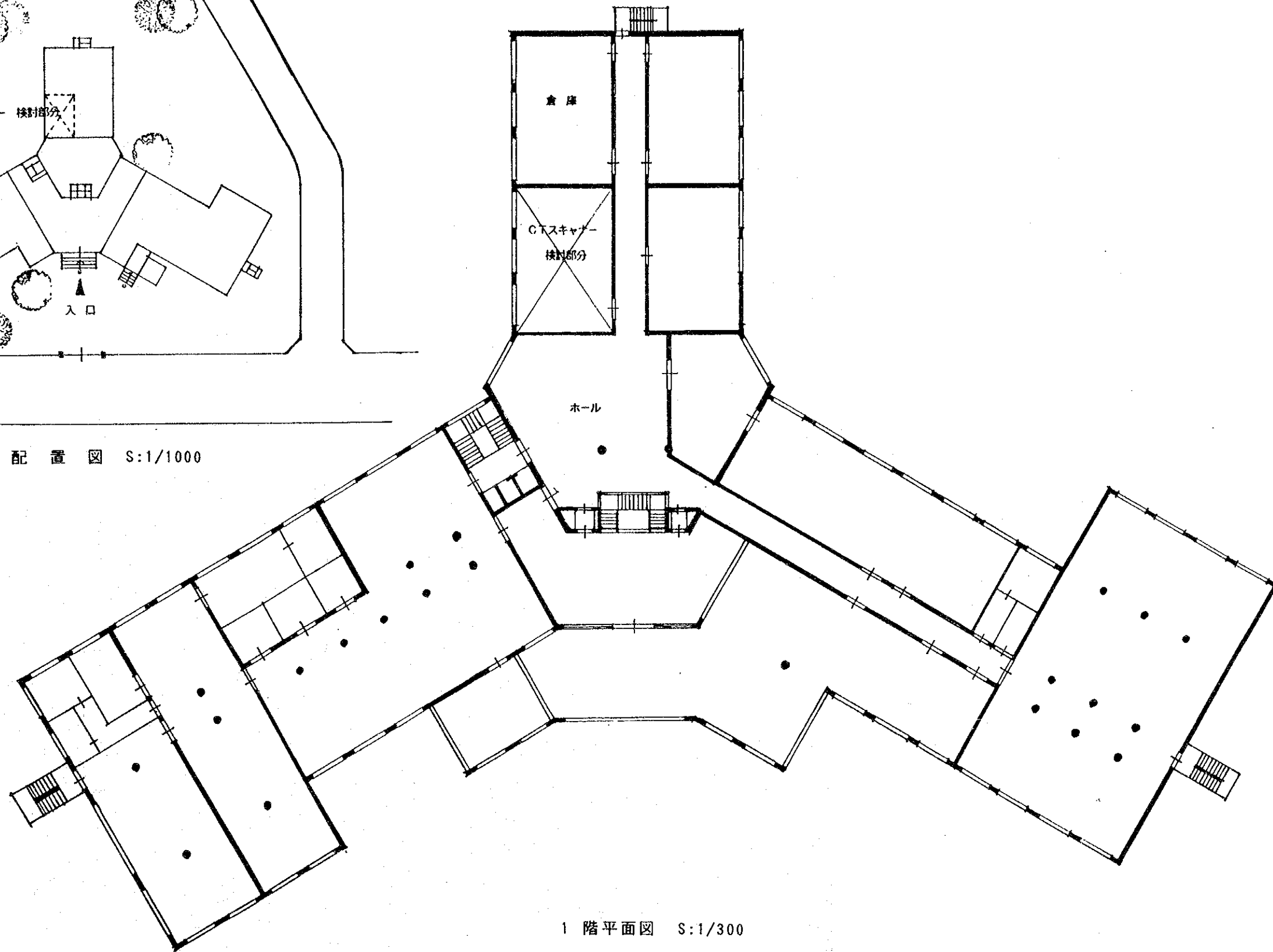
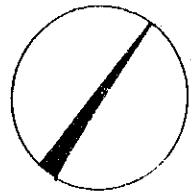


救急部門平面図 (1階) S:1/200

ホムス・アルワタニ病院



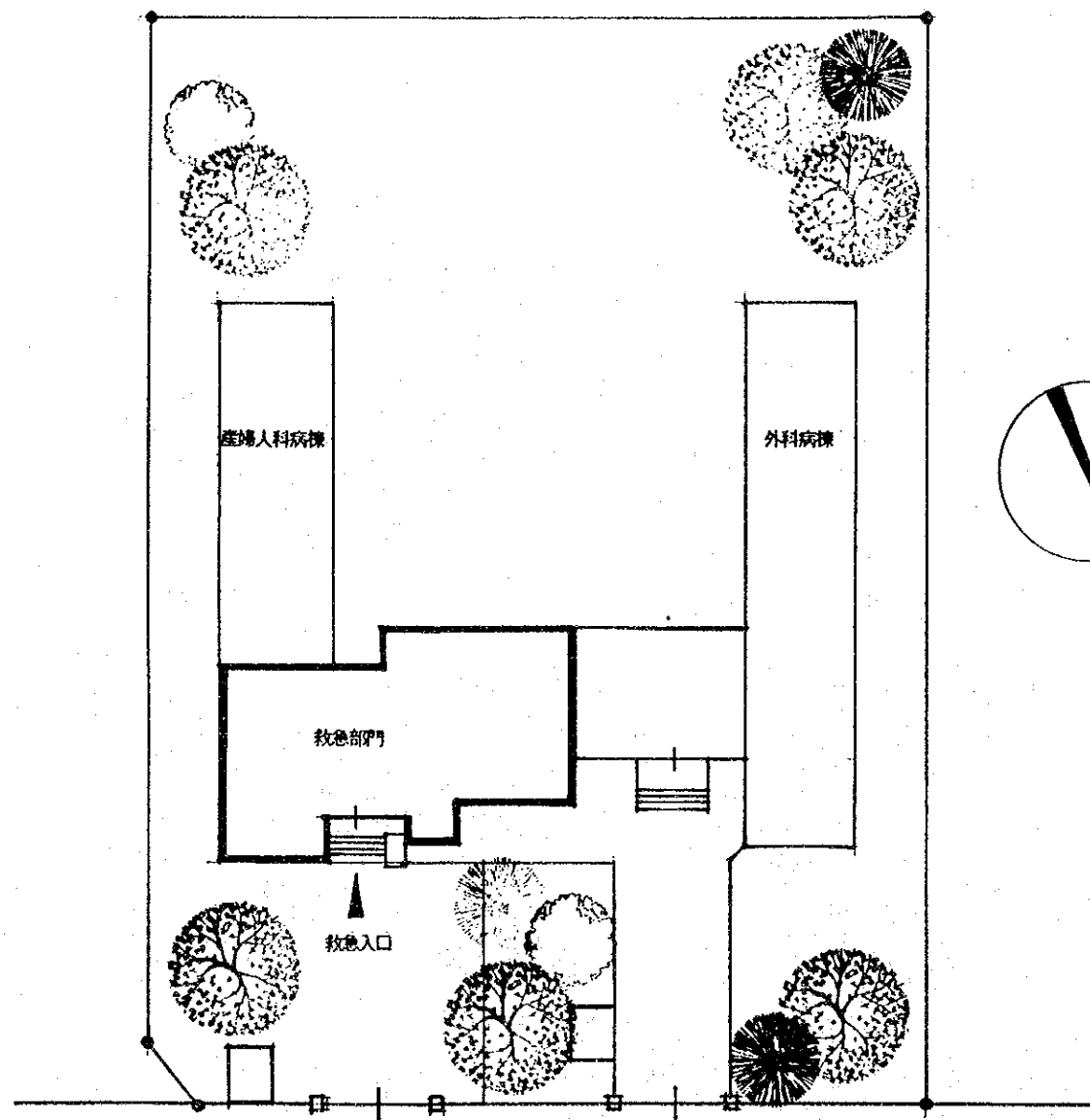
配置図 S:1/1000



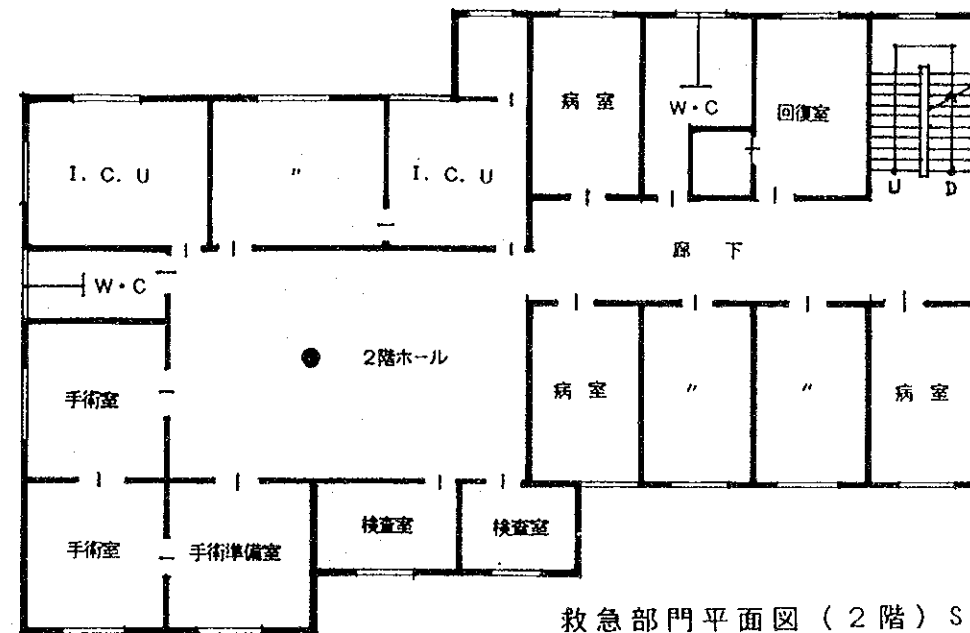
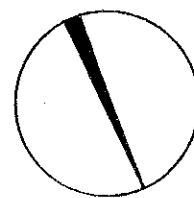
1階平面図 S:1/300

アレppo・イブンラシド病院

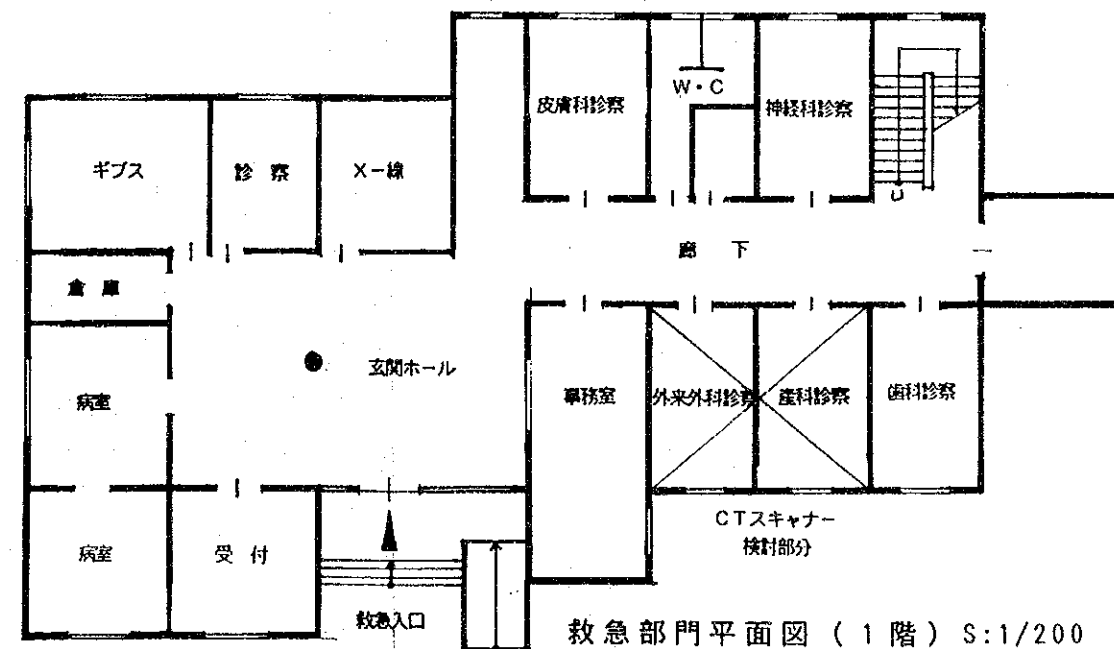
図面一



配置図 S:1/500



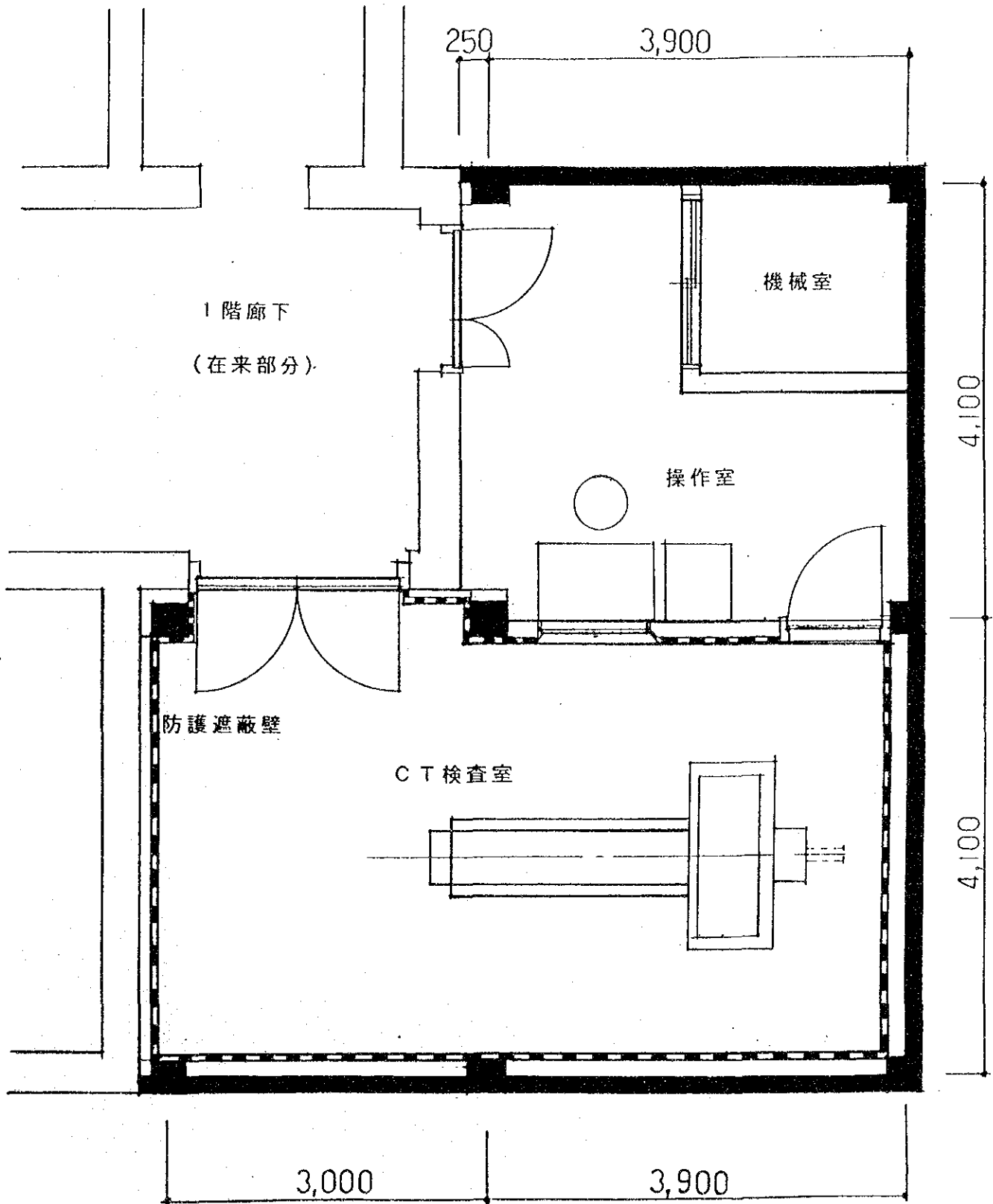
救急部門平面図 (2階) S:1/200



救急部門平面図 (1階) S:1/200

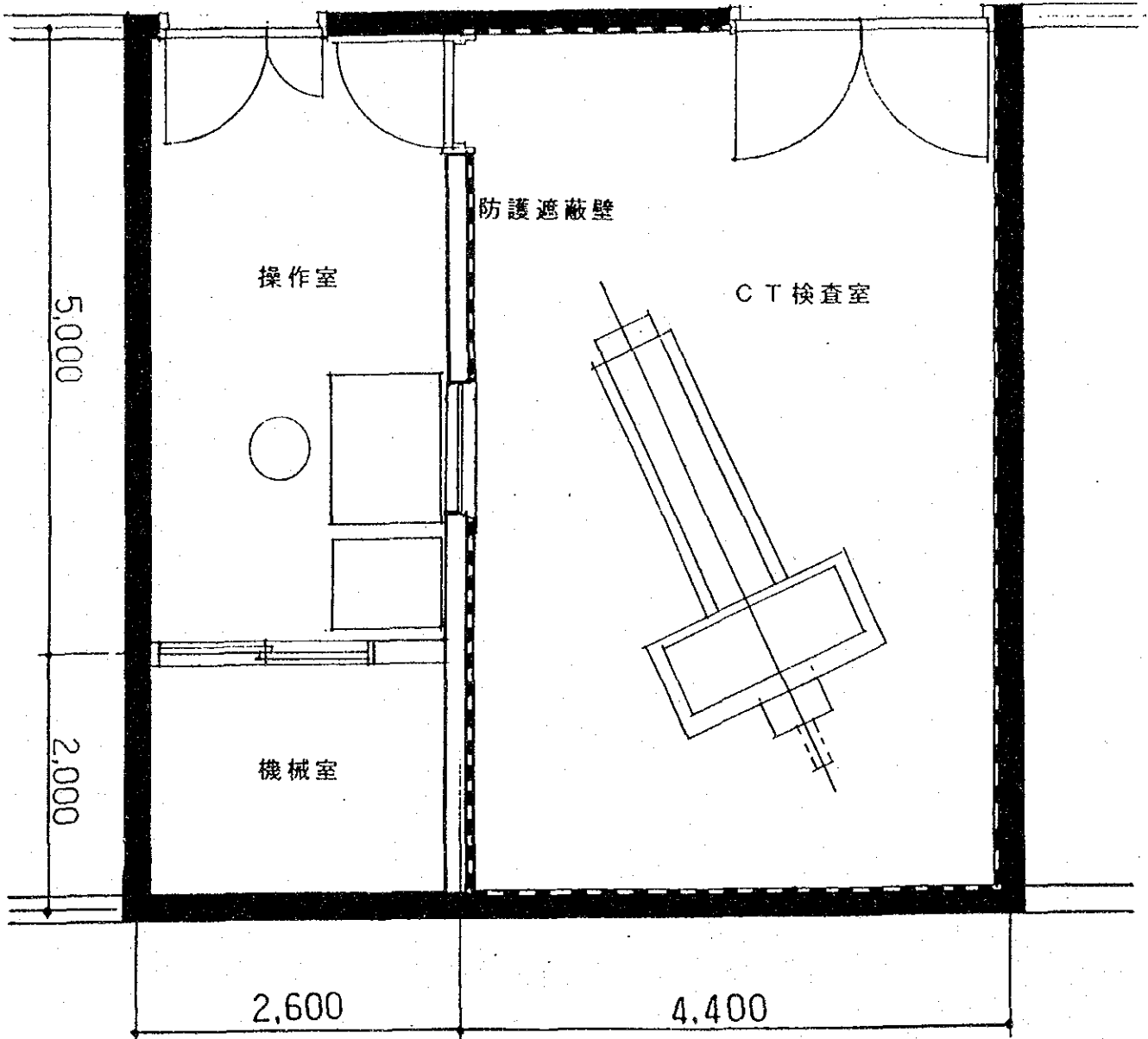
デリゾール・アルワタニ病院

7. CT据付レイアウト図



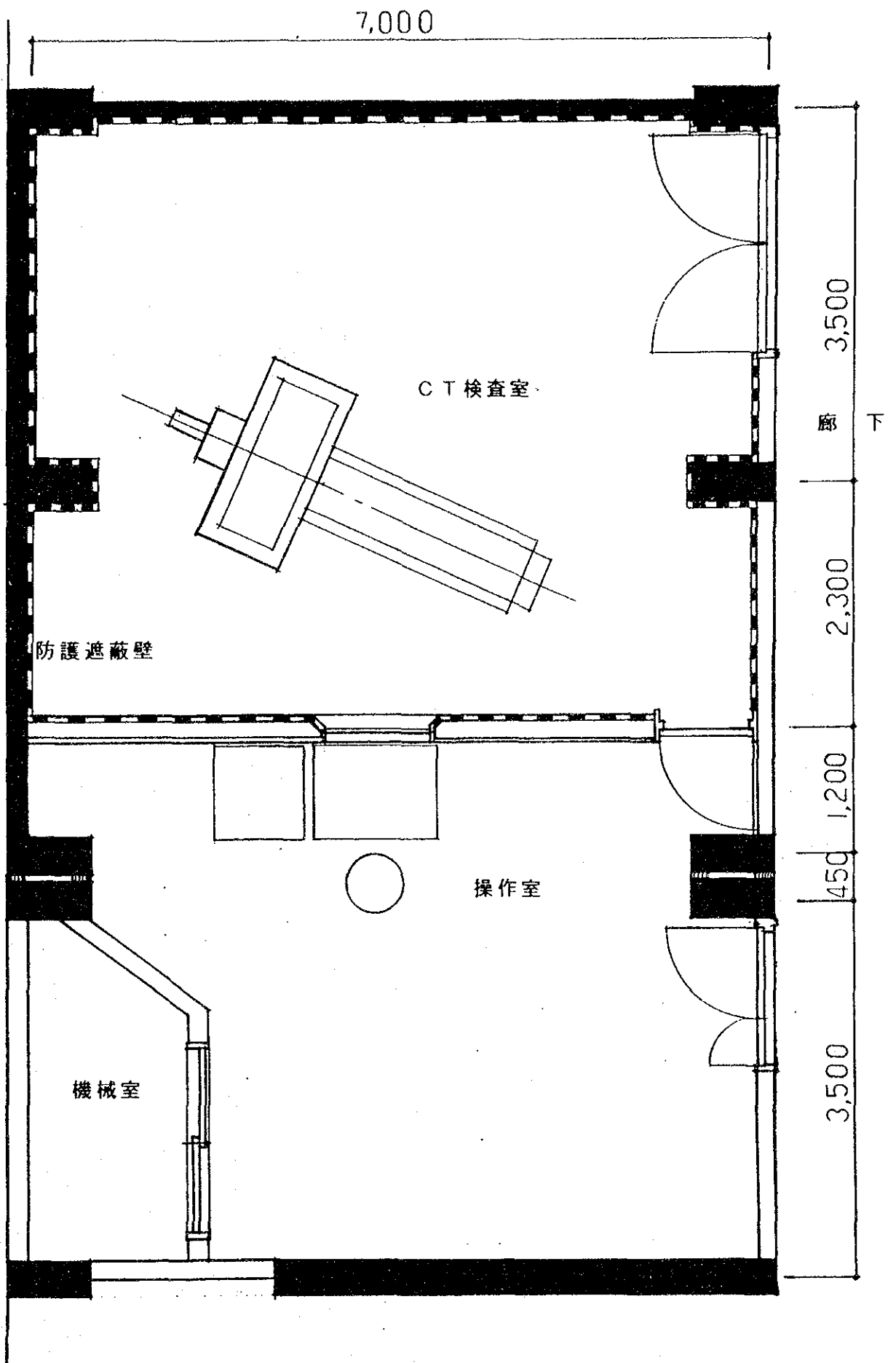
CT室レイアウトプラン (例) S : 1 / 50
 ダマスカス病院 (ダマスカス市)

1階廊下



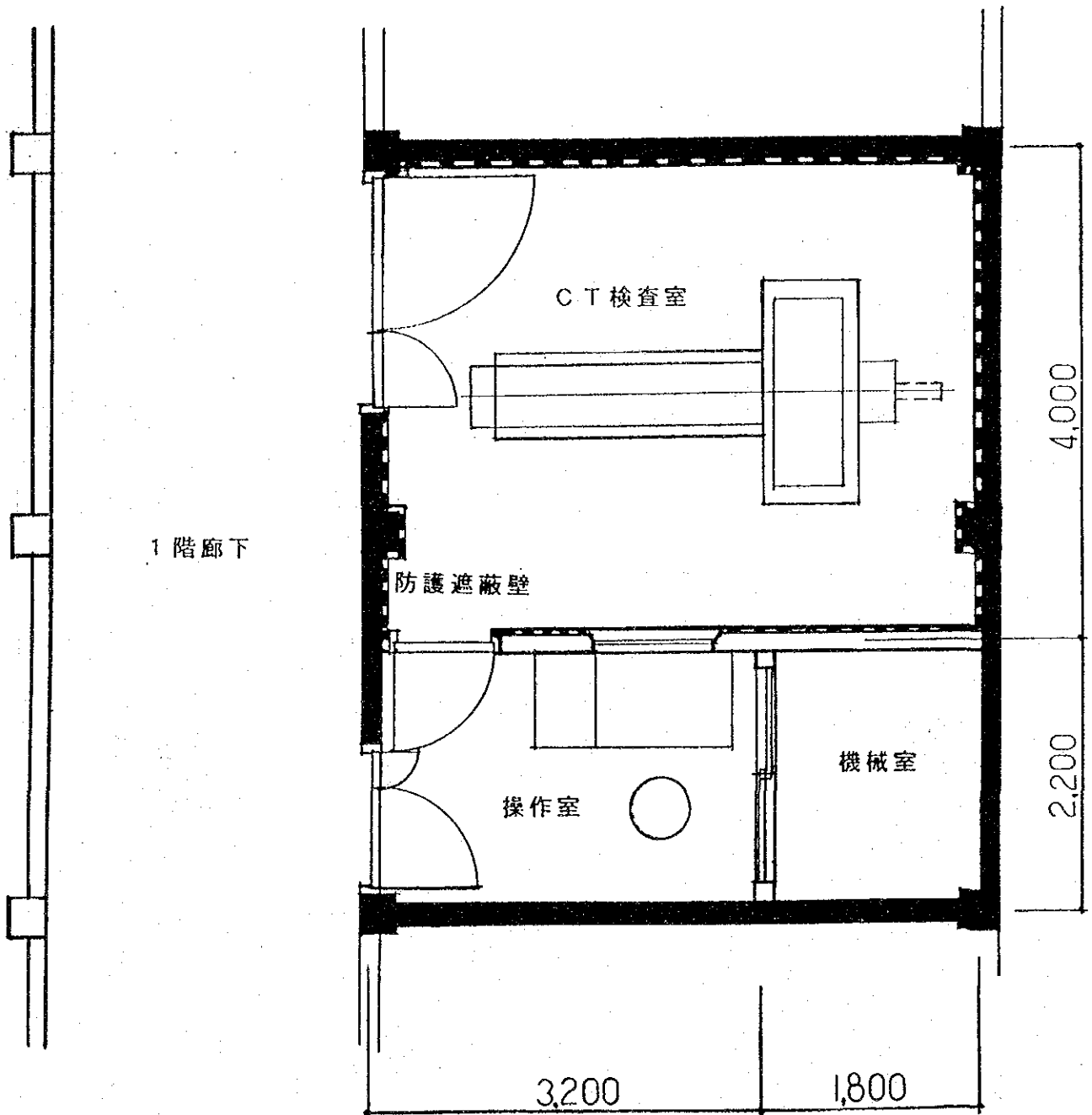
CT室レイアウトプラン（例）S：1/50

ホムス・アルワタニ病院



CT室レイアウトプラン (例) S: 1/50

アレppo・イブンラシド病院



CT室レイアウトプラン (例) S : 1 / 5 0

デリゾール・アルワタニ病院

JICA